

令和2年9月16日

レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

爽秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、去る9月11日、12日に開催しました第10回レギュラトリーサイエンス学会学術大会は、新型コロナウイルス感染症に備えて密を避けるため、参加者を250名に絞らせて頂きました。密を避けた大会ではありましたが、ご講演並びにご参加の皆様のおかげをもちまして密度の濃い学術集会となり、成功裡に終えることが出来ましたこと、衷心より感謝申し上げます。

記念大会シンポジウムでご講演を頂いた桐野豊先生（徳島文理大学名誉学長・名誉教授）近藤達也先生（一般社団法人 Medical Excellence Japan 理事長）、永井良三先生（自治医科大学 学長）、笠貫宏先生（早稲田大学 特命教授、早稲田大学 医療レギュラトリーサイエンス学会 理事長）には厚く御礼申し上げます。また、13件のシンポジウム、14件の一般口演、29件のポスター発表における座長、演者等をお勤め頂いた方々に深く感謝申し上げます。

今回の学術大会は、「医薬品・医療機器のライフサイクルとレギュラトリーサイエンス」というテーマで開催させて頂きました。本大会では、会員の方々が取り組んでおられる課題についての議論が深まるとともに課題解決に資するレギュラトリーサイエンス研究の種々進展がございました。これにより、今後の医薬品・医療機器の開発から市販後の育薬が更に有効かつ効率よく進むようになることが期待されますこと、大変嬉しく思っております。

また、今回の学術大会の運営については、新型コロナウイルス感染症対策のこともあり、行き届かない点多々あったかと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第10回学術大会 大会長 豊島 聡